

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第7章 県民の視点に立った安全・安心で質の高い医療体制の整備
 第8節 最先端医療・技術の実用化促進

とりまとめ担当課：ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室

1 課題に対するこれまでの取組実績

(1) 特区制度の活用	→ 湘南ヘルスイノベーションパークや、ライフイノベーションセンターなどの企業を中心にヒアリングを行い、既に認定・活用された特区事業を含め、京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区や国家戦略特区の取組みを進めた。
(2) 再生・細胞医療、ロボット技術等の実用化促進	○ 再生・細胞医療の実用化（産業化）を促進するために主に次の取組みを実施 → ライフサイエンス関連の研究機関や企業等が立地する川崎市殿町地区に県が公民共同で整備したライフイノベーションセンター（L I C）への企業誘致を推進した。（H30：26事業者が集積） → ベンチャー企業等が取り組むプロジェクトを公募の上、事業化支援を実施（H30：9件） → L I Cの入居事業者を中心に、再生・細胞医療に関連する様々な企業や団体等が参画する「かながわ再生・細胞医療産業化ネットワーク（R I N K）」で各種イベントを実施（H30：7回） → ヘルスケア分野に関連するベンチャー企業に投資する「ヘルスケア・ニューフロンティア・ファンド」を組成（総額12.5億円） ○ ロボット技術等の実用化を促進するため次の取組みを実施 → ヘルスケアロボットの普及促進に向けて、約9,000名に対して体験会・イベント出展等を実施（H30：未病JAPAN2018への出展：1件、未病普及啓発イベントへの出展：1件、ヘルスケアロボット見学会・説明体験会：37件） → ヘルスケアロボットを活用した未病改善（歩行機能改善）に係る実証事業として、要支援1～要介護2の高齢者（16名）に対して、ヘルスケアロボットを活用したトレーニングプログラムを実施（H30：20回）

2 参考指標の推移

指標名	単位	神奈川県内					参考指標を設定した理由	備考
		H30	R 1	R 2	R 3	R 4		

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 特区制度の活用

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特区制度を活用し、事業者が行う創薬研究に必要な規制緩和を実現するため新規提案を2件行い、その結果、規制省庁から所要の措置を行うとの結論を得た。
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療分野の実用化促進に係る新たな規制緩和を求め、新規提案を行った。 ・ 既に認定、活用されている事業についても、引続き取組みが進められている。

(2) 再生・細胞医療、ロボット技術等の実用化促進

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生・細胞医療の実用化（産業化）を促進するための各種取組を実施した結果、企業等の集積が進むとともに、研究・開発ステージが進行した。 ・ ロボット技術等の実用化促進を進めた結果、多くの県民や関係機関にヘルスケアロボットを周知することができ、また、実用性（有効性）について検証することができた。
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業のニーズ等に合わせて、必要な支援を行っており、比較的順調に進捗した。

4 総合評価

評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特区制度の活用については、規制緩和の新規提案を行うなど、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。 ・ 再生・細胞医療の実用化（産業化）に向けて、そのための基盤は着実に整備されており、今後実用化に向けてさらなる施策推進を図っていく必要がある。 ・ ロボットの普及促進に関しては比較的順調に進捗しており、今後は、ロボットを活用した未病及びその改善の科学的エビデンスの確立を図っていく必要がある。